

5 R 関連施策に係る実施状況等について

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
前橋市	1	第2次G活チャレンジ「ステキにごみダイエット」の開始	令和2年度までに1人1日あたりの家庭ごみ（資源ごみを除く）量を35g減量するために、「ごみダイエット」を頭文字とした7つの取り組みを中心に減量のための啓発を行う。	R元年度 8g増 (H30 564g → R元 572g)	令和7年度までに1人1日あたりの家庭ごみ（資源ごみを除く）量を79g減量するために、「ごみダイエット」を頭文字とした7つの取り組みを中心に減量のための啓発を行う。	令和2年度 20g増 (R1 571g → R2 591g)	令和2年度と同様 令和3年度から、事業名から、「第二次」が不要になります。
前橋市	2	剪定枝粉碎機の貸出し	可燃ごみとして排出される枝木類の減量化を図るため、剪定枝粉碎機の貸出を開始した。	令和元年度 21件	令和2年12月から廃止	令和2年度 24件	事業再開の予定なし
前橋市	3	翻訳した家庭用資源・ごみ分別ガイドブックの配布	英語・中国語・ポルトガル語・ハンブル・ベトナム語の5か国語に翻訳したガイドブックを適宜配布した。	-	令和元年度と同様	-	令和2年度と同様
前橋市	4	分別アプリの配信	収集日や分別方法が確認できるアプリの配信。日本語のほか、5か国語対応（英語・中国語・ポルトガル語・ハンブル・ベトナム語）。	令和元年度 16,862DL	令和元年度と同様	令和2年度 22,309DL	令和2年度と同様
前橋市	5	地域版リユース宝市の開催	各地域でリユース宝市（不用品交換会）を開催し、地域に根付くようなリユースの活動の推進を図る。	令和元年度 3回	令和元年度と同様	令和2年度 0回	令和2年度と同様
前橋市	6	有価物集団回収増加促進奨励金の交付	従来の回収量に応じた奨励金に加えて、下記を交付。 【増加促進奨励金】 ①年間の平均回収量が5,000kg以上ある場合4,000円、7,000kg以上ある場合6,000円、9,000kg以上ある場合9,000円 ②年間の平均回収量が対前年度で、10%以上増加した場合4,000円、15%以上増加した場合6,000円、20%以上増加した場合9,000円 【リユース促進奨励金】 団体主体のリユース宝市を年間1回の開催した場合5,000円、2回以上実施した場合10,000円	令和元年度回収量 7,749,390 kg 回収量に応じた奨励金（1 ^{kg} あたり9円） 69,744,510 円 増加促進奨励金 475,000 円 リユース促進奨励金 10,000 円	令和元年度と同様	令和2年度回収量 6,459,890 kg 回収量に応じた奨励金 （1 ^{kg} あたり9円） 58,139,010 円 増加促進奨励金 461,000 円 リユース宝市 実施なし	増加促進奨励金、リユース促進奨励金を廃止した。

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
前橋市	7	生ごみ処理機の購入費助成	可燃ごみとして排出される生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理機の購入に対し助成を行う。助成金額は購入費の1/2（限度額2万円）	令和元年度 47基	令和元年度と同様	令和2年度 49基	令和2年度と同様
前橋市	8	枝葉粉碎機の購入費助成	可燃ごみとして排出される枝木類の減量化を図るため、枝葉粉碎機の購入に対し助成を行う。助成金額は購入費の1/2（限度額1万円）	令和元年度 25基	令和元年度と同様	令和2年度 16基	令和2年度と同様
前橋市	9	リユース食器利用費補助金の交付	自治会等の団体が主催するイベントで、リユース食器を利用する場合、その費用の一部を補助することにより、ごみの発生抑制及びリユース意識の普及啓発を図る。対象経費の1/2（限度額5万円）	令和元年度 8事業	令和元年度と同様	新型コロナウイルス感染の影響により実績なし	令和2年度と同様
前橋市	10	廃食用油拠点回収	家庭から排出される廃食用油について、市役所や支所、市民サービスセンター等17箇所に回収ボックスを設置し、拠点回収を行った。	令和元年度 9,802kg	令和元年度と同様	令和2年度 8,906kg	令和2年度と同様
前橋市	11	食べきり運動	食品ロス削減対策の一環として、市職員の啓発や小盛りメニューの導入や持ち帰りの対応、食べ残しを減らすための呼びかけなどに積極的に取り組んでいる店舗を「食べきり協力店」として登録。市広報や市ホームページで市民に周知を図った。	登録店舗数 44店舗 (令和元年度末時点)	令和元年度と同様	登録店舗数 49店舗 (令和2年度末時点)	令和2年度と同様
前橋市	12	使用済インクカートリッジ拠点回収	プリンターメーカー各社が合同で実施している「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」に参加し、市有施設19箇所で使用済インクカートリッジの回収を開始した。	-	令和元年度と同様	回収箱 44箱 324.85Kg	令和2年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
前橋市	13	宅配便を利用した使用済み小型家電の回収	-	令和元年度 4,624.0kg	-	令和2年度 6134.2kg	令和2年度と同様
前橋市	14	段ボールコンポスト用土壌改良材の無料配布	窓口にて段ボールコンポスト用の土壌改良材を無料で配布し、各家庭で生ごみの減量を促進してもらう。	令和元年度配布数 322個	令和元年度と同様	令和2年度配布数 329個	令和2年度と同様
前橋市	15	出前講座の実施	自治会、老人会、小学生、生涯学習団体、環境美化推進員等を対象に、地区の集会所や教育施設に直接出向き、本市のごみ問題の現状や減量・資源化対策に関する講座を行った。	令和元年度 29回	令和元年度と同様 1回		令和2年度と同様
前橋市	16	3Rバスツアーの実施	市有バスを利用し、清掃工場及び最終処分場を見学するとともに、ごみ減量へのキーワード3Rについてのワンポイント紹介などを行った。	令和元年度 139人	新型コロナウイルスの影響により廃止		令和2年度と同様
前橋市	17	30・10運動（宴会時の食品ロス対策のために宴会開始・終了時の一定時間、着席等を促す運動）に係る普及啓発	市役所内部に対して年末年始、年度末年度初めに食べ切り運動（食べタイム15運動）を啓発	-	新型コロナウイルス感染予防による会食の自粛に伴い、市役所内部に対する啓発を実施せず。	-	令和2年度と同様
前橋市	18	マイボトル運動の普及啓発	美化推進員説明会や出前講座での利用啓発	-	令和元年度と同様	-	令和2年度と同様
前橋市	19	使い捨てプラスチック等の使用抑制に係る普及啓発	美化推進員説明会や出前講座での利用啓発	-	令和元年度と同様	-	令和2年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
前橋市	20	フードバンク支援（フードドライブの実施等）	七夕まつりでのチラシ配布 美化推進員説明会や出前講座での利用啓発	—	美化推進員説明会や出前講座での利用啓発	—	令和2年度と同様
高崎市	21	有価物集団回収事業	有価物集団回収を実施し、ごみの減量化・リサイクルの推進を図った。 回収量に応じて実施団体に奨励金を支給した。（8円/kg）	令和元年度全品目合計 約6,143t	令和元年度と同様	令和2年度全品目合計 約4,337t	令和2年度と同様
高崎市	22	生ごみ処理機器購入費補助	生ごみの堆肥化等によるごみの減量化を図るため、生ごみ処理機器を購入した市民に対して購入額の1/2を補助。	令和元年度実績 66基	令和元年度と同様	令和2年度実績 73基	令和2年度と同様
高崎市	23	雑がみリサイクルモデルステーションの実施	雑がみの資源化を推進するため、各町内でモデルとなるごみステーションを設定し、雑がみの分別徹底とリサイクル推進を図った。	令和元年度実績 94町内会	令和元年度と同様	令和2年度実績 103町内会	令和2年度と同様
高崎市	24	イベント時の家具類リユース事業	粗大ごみとして収集した家具類のうち、まだ利用可能なものを年2回（各2日間）のイベント時に展示し、抽選で再利用希望者へ引き渡した。	令和元年度実績 年2回（各2日間）開催 92点の引渡し	粗大ごみとして収集した家具類のうち、まだ利用可能なものを年1回（2日間）のイベント時に展示し、抽選で再利用希望者へ引き渡した。	令和2年度実績 年1回（2日間）開催 71点の引渡し	令和2年度と同様
高崎市	25	イベント時の古着・古布・古本の回収及び交換会	年2回（各2日間）のイベント時に、古着・古本・古布の交換会を実施した。	令和元年度回収実績 （古着・古本合計） 4.75t	年1回（11月・2日間）のイベント時に、古着・古本・古布の回収のみを実施した。（交換会は実施せず）	令和2年度回収実績 （古着・古本合計） 3.41t	令和2年度と同様
高崎市	26	廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収	年2回のイベント時に廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収を実施した。	令和元年度回収実績 タイヤ等1,661本 バッテリー155個 消火器255個	年1回（11月）のイベント時に廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収を実施した。	令和2年度回収実績 タイヤ等2,254本 バッテリー208個 消火器217個	令和2年度と同様
高崎市	27	ドギーバック（外食時の食べ残しの持ち帰り容器）又は食べ残しの持ち帰りの普及啓発	食品ロス標語を貼付したドギーバックを作成し、食品ロス0協力店に配置と活用を依頼	1,400個配布	実施なし		令和3年度は実施なし。 以降未定。
高崎市	28	使い捨てプラスチック等の使用抑制に係る普及啓発	群馬県環境にやさしい買い物スタイル普及促進活動に参加	年3回、市内店舗で普及活動を行った	令和元年度と同様		令和2年度と同様
高崎市	29	ごみの組成調査	月1回実施	—	年4回実施		令和2年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
桐生市	30	ごみ集団回収奨励金	平成27年度からの累進型方式を見直し、より多くの団体が累進型の恩恵を得られるよう、1kgあたり4.5円から7円までの奨励金を交付した。	4.5円：51団体 5円：25団体 6円：31団体 7円：3団体	平成27年度からの累進型方式を見直し、より多くの団体が累進型の恩恵を得られるよう、1kgあたり4.5円から7円までの奨励金を交付した。	4.5円：51団体 5円：25団体 6円：31団体 7円：3団体	令和2年度と同様
桐生市	31	ごみ減量教室	ごみの減量やリサイクルに関する意識向上を図ることを目的に1回実施。令和元年度は、雑がみの分別に特化した正しい分別方法の周知・啓発を図った。	実施回数：1回 参加者：36名	ごみの減量やリサイクルに関する意識向上を図ることを目的に1回実施。令和元年度は、雑がみの分別に特化した正しい分別方法の周知・啓発を図った。	実施回数：1回	令和2年度と同様
桐生市	32	子供向け啓発冊子作成「ごみるくん家族の大冒険」の作成	市内小学4年生全員に配付。ごみ減教室や市内の各種イベント等において配布。清掃センターにおける処理施設の仕組み、本市のごみ排出量とリサイクル率等を掲載し、3R活動の推進を図った。	作成部数：990部 印刷製本費：235,224円	市内小学4年生全員に配付。	840部	令和2年度と同様
桐生市	33	買い物袋持参運動の推進	レジ袋の削減と買い物袋（マイバック）持参運動の推進を図るため、ヤオコー桐生相生店にて、計3回38名参加のもと店頭啓発を実施した。	実施回数：3回 参加者：38名	新型コロナウイルスまん延防止により未実施。	-	令和2年度と同様
桐生市	34	各種団体等が行う環境美化活動に対する支援	市内各所で実施される清掃活動等に必要な物資の支援を行い、環境保全の啓発に努めた。	支援件数：23件	市内各所で実施される清掃活動等に必要な物資の支援を行い、環境保全の啓発に努めた。	支援件数：45件	令和2年度と同様
桐生市	35	廃食用油回収の推進	平成30年度より、廃油回収事業者と契約締結し、市有施設22拠点での回収・売払い（3円/ℓ）を実施し、家庭から排出される廃食用油の資源化を推進。	回収量：5,310ℓ 売払額：15,9300円	平成30年度より、廃油回収事業者と契約締結し、市有施設22拠点での回収・売払い（3円/ℓ）を実施し、家庭から排出される廃食用油の資源化を推進。	回収量：5,626ℓ 売払額：16,878円	令和2年度と同様
桐生市	36	簡易包装の推進	年度末・年度初めの贈答シーズンに合わせ、市民に対し過剰包装の辞退・抑制を促すため、広報きりゅう9月号に「簡易包装の推進」記事を掲載し、広く周知・啓発を行った。	-	年度末・年度初めの贈答シーズンに合わせ、市民に対し過剰包装の辞退・抑制を促すため、広報きりゅうに「簡易包装の推進」記事を掲載し、広く周知・啓発を行った。	-	令和2年度と同様
桐生市	37	ポイ捨て防止に関する支援	平成27年度に「桐生市ポイ捨て等防止に関する条例が施行されたことから、以来、ポイ捨て防止に関するプレートを作成し必要に応じ配布。令和元年度は計36枚を配布した。	配布数：36枚	平成27年度に「桐生市ポイ捨て等防止に関する条例が施行されたことから、以来、ポイ捨て防止に関するプレートを作成し必要に応じ配布。令和2年度は計16枚を配布した。	配布数：16枚	令和2年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
桐生市	38	ごみ減量等先進地視察研修	大手金属製品メーカーが運営する「容器文化ミュージアム」の視察研修を33名の参加のもと実施した。	参加者数：33名	新型コロナウイルスまん延防止により未実施。	-	令和2年度と同様
桐生市	39	リユース食器の啓発	リユース食器利用助成事業を利用し、各種イベント等でリユース食器の活用を促進し、ごみの減量化とリユース意識の啓発を図った。3団体に対し助成金の交付を行った。	助成件数：3件 助成金額：24,500円	新型コロナウイルス感染拡大の影響により交付申請なし。	-	令和2年度と同様
桐生市	40	エコ・クッキング教室	桐生瓦斯㈱が平成17年度から実施するエコ・クッキングの趣旨に賛同し本事業を側面支援することで共催事業としている。毎日摂る食事からごみ減量を意識してもらう研究・啓発活動として計9回実施。	実施回数：6回 参加者数：計122名 一部負担金：27,900円	新型コロナウイルスまん延防止により未実施。	-	令和2年度と同様
桐生市	41	エコイチクッキング	県内高校で唯一の調理科を有する桐生第一高校の特長を生かし、食材を無駄なく使い切る調理を実践することで、将来にわたって継続的に取組んでもらうことを目的に今回は授業の一環として実施した。	参加者数：計34名 一部負担金：7,000円	新型コロナウイルスまん延防止により未実施。	-	令和2年度と同様
桐生市	42	電動コンポストの研究	家庭用電動生ごみ処理機のモニターを随時募集しながら、モニタリングによる費用対効果等の研究を実施。	-	家庭用電動生ごみ処理機のモニターを随時募集しながら、モニタリングによる費用対効果等の研究を実施。	-	未実施
桐生市	43	3Rアドバイザーの設立	桐生市型3Rアドバイザー制度の推進に向け、指導者の育成・人材の確保をするため候補者を3名募集。3R低炭素社会検定の合格のための支援を実施。アドバイザーによる全体会議を開催し、活動状況等情報の共有化、各種行事への積極的な参画について合意・決定。	応募数：3名 合格者数：4名（自費による合格者1名含む）	新型コロナウイルスまん延防止により開催中止。	-	令和2年度と同様
桐生市	44	雑がみ分別方法の啓発	平成30年度の単年度事業（令和元年度は実施せず。）	-	雑がみ保管袋を作成し、雑がみ分別に取り組み世帯の増強を図る。	作成：7800枚	令和2年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
桐生市	45	使用済み小型家電の回収	市有施設等18ヶ所に回収ボックスを設置し、拠点回収を実施。桐生市が回収品目として定めた12品目を回収。	回収量：1,426kg	令和2年度から国の認定事業者のリネットジャパンリサイクル㈱と協定を結び、パソコンや小型家電の回収を行った。	パソコン：244台 携帯電話：106台 小型家電：800kg	令和2年度と同様
桐生市	46	使用済みインクカートリッジの拠点回収	令和2年度から実施に向け使用済みインクカートリッジ回収ボックスを市有施設19か所に設置。	-	令和2年度から使用済みインクカートリッジ回収ボックスを市有施設19か所に設置。	回収量：695個 売払額：13,900円	令和2年度と同様
桐生市	47	古布・古着の回収協力	桐生市ボランティア協議会がごみの減量化とリサイクルを目的に市内公民館等に12箇所の回収ボックスを設置し回収。	回収量：48,130kg	中止	-	中止
桐生市	48	食べきり運動	食品ロス削減対策の一環として、市職員の啓発や小盛りメニューの導入や持ち帰りの対応、食べ残しを減らすための呼びかけなどに積極的に取り組んでいる店舗を「食べきり協力店」として登録。市広報や市ホームページで市民に周知を図った。	登録店舗数：25店舗	食品ロス削減対策の一環として、市職員の啓発や小盛りメニューの導入や持ち帰りの対応、食べ残しを減らすための呼びかけなどに積極的に取り組んでいる店舗を「食べきり協力店」として登録。市広報や市ホームページで市民に周知を図った。	登録店舗数：25店舗	令和2年度と同様
桐生市	49	使い捨てプラスチック等の使用抑制に係る普及啓発	・店頭による買い物袋持参運動を実施。 ・プラスチック製買い物袋（レジ袋）の削減の記事を広報掲載した。	実施回数 3回 動員数 37人	新型コロナウイルスまん延防止により中止とした。	-	令和2年度と同様
桐生市	50	フードバンク支援（フードドライブの実施等）	フードバンク事業の取組によって食品ロスを削減の推進。今年度も賞味・消費期限が2か月以上残り常温保存が可能で未開封の食品を幹事会等集まりがある機会ごとに持ち寄ってフードバンク桐生へ提供。	支援実績347個 79.8kg	フードバンク事業の取組によって食品ロスを削減の推進。令和2年度は新型コロナウイルスまん延防止により中止とした。	支援実績55個 10kg	令和2年度と同様
桐生市	51	ごみの組成調査	環境省が定めるごみ組成調査を実施	-	環境省が定めるごみ組成調査を実施	-	令和2年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
伊勢崎市	52	リユース食器貸出事業	市内のイベントに参加し営利目的でなく飲食を提供する団体を対象に無料でリユース食器の貸出しを実施。	貸出件数 令和元年度 62件	令和元年度と同様	貸出件数 令和2年度 6件	令和2年度と同様
伊勢崎市	53	衣類の集団回収事業	平成28年度より集団回収奨励金の対象品目として衣類の回収を実施。	回収量 令和元年度 3t	令和元年度と同様	回収量 令和2年度 約1.7t	令和2年度と同様
伊勢崎市	54	ごみ分別アプリの配信	スマートフォンやタブレット端末で、ごみの収集日や出し方を確認でき、市から発信した情報を確認できるインフォメーション機能等を備えたごみ分別アプリの普及促進。	登録数 令和元年度 3,505件	令和元年度と同様	登録数 令和2年度 3,873件	令和2年度と同様
伊勢崎市	55	食品ロス削減協力店認定事業	飲食店や宿泊施設を対象に食品ロスの削減に向けた取り組みを実践する店舗を募集し「協力店」として認定し、その取り組みを官と民とが連携し、消費者に対し広く周知することで、ごみの減量化及び再資源化を推進を図った。	登録数 令和元年度 34件	令和元年度と同様	登録数 令和2年度 3件	令和2年度と同様
伊勢崎市	56	生ごみ処理器購入費助成	家庭から発生する生ごみの減量を図るため、生ごみを自家処理する生ごみ処理器の購入費の一部を助成。(本体購入費1/2、上限2万円)	助成件数 令和元年度 73件	令和元年度と同様	助成件数 令和2年度 78件	令和2年度と同様
伊勢崎市	57	枝葉破砕機購入費助成	家庭から発生する枝葉の減量を図るため、自家処理する枝葉破砕機の購入費の一部を助成。(本体購入費1/2、上限2万円)	助成件数 令和元年度 49件	令和元年度と同様	助成件数 令和2年度 48件	令和2年度と同様
伊勢崎市	58	30・10運動(宴会時の食品ロス対策のために宴会開始・終了時の一定時間、着席等を促す運動)に係る普及啓発	-	伊勢崎市食品ロス削減協力店や市内公共施設に設置配布	令和元年度と同様	伊勢崎市食品ロス削減協力店や市内公共施設に設置配布	令和2年度と同様
伊勢崎市	59	インクカートリッジ回収事業	令和2年度以降に実施予定	-	市内公共施設23箇所に専用回収ボックスを設置し、ごみの減量化及び再資源化の推進を図る	回収量 令和2年度 106kg	令和2年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度	成果	令和2年度	成果	令和3年度以降の予定
伊勢崎市	60	小型充電式電池回収事業	令和2年度以降に実施予定	-	市内公共施設23箇所に専用回収ボックスを設置し、ごみの減量及び再資源化の推進を図る	回収量 令和2年度 0kg (回収後一時保管・処理は次年度に繰り越したため計量未実施)	令和2年度と同様
伊勢崎市	61	小型電子機器等回収促進連携・協力事業	令和2年度以降に実施予定	-	国の認定事業者とパソコン等の電子機器の回収促進に関する連携・協力の協定を締結させ、宅配便による自宅回収を開始し、ごみの減量及び再資源化の推進を図る	回収量 (PC外小型家電) 令和2年度 約 7.2t	令和2年度と同様
伊勢崎市	62	出前講座の実施	自治会、団体等を対象に、学習会や地域の集まりに職員を派遣し、「ごみ減量とリサイクル」をテーマに資源とごみの分別方法やリサイクルについて説明を行っている。	実施件数 令和元年度 5件	令和元年度と同様	実施件数 令和2年度 1件	令和2年度と同様
伊勢崎市	63	集団回収奨励金交付事業	子ども会育成会やPTA、ボランティア団体などの非営利団体が独自に行う資源物の回収活動に対し、奨励金を交付している。(8円/kg)	回収量 (全品目合計) 令和元年度 約1,073t	令和元年度と同様	回収量 (全品目合計) 令和2年度 約530t	令和2年度と同様
伊勢崎市	64	分別ガイドブックの作成・配布		—		—	令和2年度まで配布していた「ごみ分別辞典」を大幅に改定し、「家庭の資源とごみの分別ガイドブック」を作成・配布する
太田市	65	資源回収に対する支援	資源ごみ回収運動に協力する市内の団体が資源ごみを地域で共同収集し、売却する事業に対し報奨金を交付することにより、資源ごみの再生利用を促進する	回収量 R元年度 3,144 t	資源ごみ回収運動に協力する市内の団体が資源ごみを地域で共同収集し、売却する事業に対し報奨金を交付することにより、資源ごみの再生利用を促進する	回収量 R2年度 1,678 t	令和2年度と同様
太田市	66	生ごみ処理槽等設置助成金制度	家庭厨芥類の自家処理を推進しごみの減量化を図るため、生ごみ処理槽、生ごみ処理容器及び生ごみ処理機の導入について、その一部を助成する。	助成台数 R元年度 87台	家庭厨芥類の自家処理を推進しごみの減量化を図るため、生ごみ処理槽、生ごみ処理容器及び生ごみ処理機の導入について、その一部を助成する。	助成台数 R2年度 118台	令和2年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
太田市	67	廃食用油の回収	家庭ごみの減量と資源のリサイクルを推進するため、使用済みや未使用で消味期限切れなどの廃食用油を回収する。(収集拠点：清掃センター、各行政センター計15箇所)	回収量 R元年度 13,590kg	家庭ごみの減量と資源のリサイクルを推進するため、使用済みや未使用で消味期限切れなどの廃食用油を回収する。(収集拠点：清掃センター、各行政センター計15箇所)	回収量 R2年度 14,454kg	令和2年度と同様
太田市	68	特に分かりづらい「ごみの分け方・出し方」一覧表の配付	「家庭ごみの分け方と出し方」を基本とし、特に分かりづらいごみの問い合わせの多いごみについて、一覧表を作成し全戸配付した	-	「家庭ごみの分け方と出し方」を基本とし、特に分かりづらいごみの問い合わせの多いごみについて、一覧表を作成し全戸配付した	-	令和2年度と同様
太田市	69	ごみ分別アプリの導入	手持ちのスマートフォンで、市のホームページからスマートフォン上で、ごみの分別方法を調べたり、ごみの収集日をお知らせしてくれる機能もある。また、紙で配布していたリーフレットの内容も電子データとして確認することができる。 【新規事業】R元.7.1~	900人	手持ちのスマートフォンで、市のホームページからスマートフォン上で、ごみの分別方法を調べたり、ごみの収集日をお知らせしてくれる機能もある。また、紙で配布していたリーフレットの内容も電子データとして確認することができる。	3,053人	令和2年度と同様
太田市	70	セキュリティリサイクル事業	市の公共施設から発生する個人情報を含む公文書の廃棄処理については、清掃センターで焼却処理をしていたが、ごみの減量化と循環型社会の推進のため、溶解処理をする事により機密性を保持しながら、紙製品への再資源化を図る。 【新規事業】R1.6.1~	24,660kg	市の公共施設から発生する個人情報を含む公文書の廃棄処理については、清掃センターで焼却処理をしていたが、ごみの減量化と循環型社会の推進のため、溶解処理をする事により機密性を保持しながら、紙製品への再資源化を図る。	68,790kg	令和2年度と同様
沼田市	71	○古着・古布の集団回収 ○古着・古布のステーション回収	○有価物集団回収において回収を実施。 ○資源日に各ステーションにおいて回収を実施。	13.8t	○有価物集団回収において回収を実施。 ○資源日に各ステーションにおいて回収を実施。	18.3t	令和2年度と同様
沼田市	72	蛍光管等のステーション回収	資源日に各ステーションにおいて蛍光管等の回収を実施	4.0t	資源日に各ステーションにおいて蛍光管等の回収を実施。	4.4t	令和2年度と同様
沼田市	73	有価物集団回収奨励事業	有価物集団回収を実施した登録団体に対し、その実績に応じて奨励金を交付し、ごみの減量化と再資源化を推進した。 ※古着・古布の回収を含む	517t	有価物集団回収を実施した登録団体に対し、その実績に応じて奨励金を交付し、ごみの減量化と再資源化を推進した。 ※古着・古布の回収を含む	407t	令和2年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
沼田市	74	ごみの組成調査	複数のステーションに排出された不燃ごみを、年に一度組成調査を実施。	-	複数のステーションに排出された不燃ごみを、年に一度組成調査を実施。	-	令和2年度と同様
沼田市	75	環境フォーラム ぬまた	6月の環境月間に合わせて、ぬまた環境ネット構成団体による活動の展示紹介、環境講演会等を実施。	-	新型コロナウイルス感染拡大により中止。	-	新型コロナウイルス感染拡大により中止。
沼田市	76	沼田市ウィズコロナ風呂敷エコプロジェクト			コロナ禍における多様な買い物スタイルを提案等するため、市でオリジナルデザインの風呂敷を作製し、市内の販売取扱店を通じて販売。	-	単年度実施事業のため、実施予定なし。
沼田市	77	機密文書リサイクル	焼却処理されることが多い機密文書を細断・リサイクル処理することで、市役所の廃棄物減量化を推進した。	処理量7,077kg	焼却処理されることが多い機密文書を細断・リサイクル処理することで、市役所の廃棄物減量化を推進した。	処理量1,227kg	令和2年度と同様
沼田市	78	ごみ分別アプリの導入	ごみ分別アプリ「さんあーる」を導入し、利用者の分別意識の向上を図った。	-	ごみ分別アプリ「さんあーる」を導入し、利用者の分別意識の向上を図った。	-	令和2年度と同様
沼田市	79	生ごみ処理機購入助成	市が事務局を担っている環境保健団体において、生ごみ処理機やたい肥コンポストなどの購入に助成金を交付した。	助成額：58,900円 申請件数：4件	市が事務局を担っている環境保健団体において、生ごみ処理機やたい肥コンポストなどの購入に助成金を交付した。	助成額：84,300円 申請件数：9件	令和2年度と同様
館林市	80	リユース品提供事業	ごみとして出された粗大ごみ等の中から、まだ利用できるもの、修理をすれば使えるもの等を市民へ提供することで、ごみの減量化、再利用の意識を持ってもらう。	開催回数 1回 提供点数 26点	粗大ごみ等の中から、リユースできるものを選別し、イベントで住民へ提供することにより、①最終処分量を減らし、②リユースの意識向上・実践を促す。 コロナ禍により、開催を中止した。	開催回数 0回 提供点数 0点	3R情報発信拠点「ごみゼロ館」で開催する「リユース品オークション」として実施する。
館林市	81	不用食器の回収	家庭にある不用食器をイベント時に回収し、海外向けリユース品として活用するもの。	回収量 81kg	家庭の不用食器をイベントで回収し、リユース業者に引き渡すことにより、①最終処分量を減らし、②リユースの意識向上・実践を促す。 コロナ禍により、開催を中止した。	回収量 0kg	休止

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
館林市	82	ごみ減量化器具購入費助成金	家庭のごみ減量を目的として、ごみ減量化器具の購入に対する助成を実施。(生ごみ処理槽3,000円、生ごみ処理容器1,000円、生ごみ処理機1/2※上限20,000円)	生ごみ処理槽 12件 生ごみ処理容器 2件 生ごみ処理機 5件	家庭で生ごみを処理する器具の購入費の一部を助成することにより、①ごみ排出量を減らし、②リデュースの意識向上・実践を促す。 ・生ごみ処理槽 3,000円 ・生ごみ処理容器 1,000円 ・生ごみ処理機 1/2 (上限20,000円)	生ごみ処理槽 12件 生ごみ処理容器 2件 生ごみ処理機 5件 ※R1と同伴数	令和2年度と同様
館林市	83	再生資源集団回収事業助成金	資源の再生利用の推進とごみ減量を目的として、資源物を回収した団体に6円/kgの助成を実施。	回収量 1,137,648kg	家庭から回収した再生資源(紙、缶、瓶、布)の重量に応じて助成金を交付することにより、①最終処分量を減らし、②リサイクルの意識向上・実践を促す。 ・団体 6円/kg ・組合 3円/kg	回収量 604,004kg	令和2年度と同様
館林市	84	廃蛍光管の拠点回収	家庭から排出された廃蛍光管を電気店やホームセンター、公共施設の市内39か所で拠点回収を実施。	回収量 5,289kg	家庭の蛍光管を電気店、ホームセンター(21店舗)、公共施設(15施設)で回収することにより、①最終処分量を減らし、②リサイクルの意識向上・実践を促す。	回収量 6,581kg	令和2年度と同様
館林市	85	出前講座の実施	市のごみの現状と3R・食品ロスの削減について伝える。	団体数 23団体 受講者数 1,162名	ごみ処理の現状や3Rについて、職員が市民に直接伝えることにより、①3Rの意識向上・実践を促す。	団体数 4団体 受講者数 155名	令和2年度と同様
館林市	86	エコ料理教室のコーディネート	エコ料理教室のコーディネート	開催回数 1回 参加者数 8名	食材を無駄なく使う料理について、楽しみながら学ぶことにより、①食品ロス削減の意識向上・実践を促す。 コロナ禍により、開催を中止した。	開催回数 0回 参加者数 0名	休止
館林市	87	30・10運動推進	30・10運動推進 ・市内飲食店にポスターやコースターを配布 ・庁内放送や電子掲示板を職員向けに周知	配布店舗数 50店	宴会時の食べ残し削減を飲食店のポスターやコースターを通じ、市民に周知することにより、①食品ロスを減らし、②食品ロス削減の意識向上・実践を促す。 コロナ禍により、飲食店を対象としたごみ減量化施策を見合わせた。	配布店舗数 0店	休止

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
館林市	88	ドギーバック (外食時の食べ残しの持ち帰り容器)又は食べ残しの持ち帰りの普及啓発	飲食店等に、30・10運動啓発ポスター、コースターを配布し、掲示を依頼する。	配布店数 50店	外食時の食べ残し削減を飲食店内のポスターやコースターを通じ、市民に周知することにより、①食品ロスを減らし、②食品ロス削減の意識向上・実践を促す。 コロナ禍により、飲食店を対象としたごみ減量化施策を見合わせた。	配布店舗数 0店	休止
館林市	89	小学生を対象にした食べきり普及教室の実施	施設見学の際の講座で普及啓発を行う。	学校数 11校 生徒数 656名	施設見学の際に、食べきりの大切さを小学生に学んでもらうことにより、①家庭における食品ロス削減の意識向上・実践を促す。 コロナ禍により、開催を中止した。	学校数 0校 生徒数 0名	令和2年度と同様
館林市	90	マイボトル運動の普及啓発	3R普及啓発紙(エコシティごみゼロ版)、出前講座、ケーブルテレビでプラスチックの使用抑制の普及啓発を行う。	発行回数 5回 開催回数 23回 撮影回数 4回	出前講座などでプラスチックごみ削減の普及啓発を行うことにより、①ペットボトル(プラスチックごみ)削減の意識向上・実践を促す。	団体数 4団体 受講者数 155名	令和2年度と同様
館林市	91	使い捨てプラスチック等の使用抑制に係る普及啓発	3R普及啓発紙(エコシティごみゼロ版)や出前講座でプラスチックの使用抑制の普及啓発を行う。	発行回数 5回 開催回数 23回 撮影回数 4回	出前講座などでプラスチックごみ削減の普及啓発を行うことにより、①プラごみ削減の意識向上・実践を促す。	団体数 4団体 受講者数 155名	令和2年度と同様
館林市	92	フードバンク支援(フードドライブの実施等)	NPO団体と連携してイベント回収を行う。また、3R普及啓発紙や広報紙で特集を組む。	開催回数 1回 特集回数 1回	NPOと連携し、イベントでフードドライブを行うことにより、①食品ロスを減らし、②食品ロス削減の意識向上・実践を促す。 コロナ禍により、開催を中止した。	開催回数 0回	休止
館林市	93	フリーマーケットの開催			フリーマーケットを行うことにより、①ごみを減らし、②リユースの意識向上・実践を促す。 コロナ禍により、開催を中止した。	出店者数 0人	休止
館林市	94	雑紙の分別収集			家庭の雑紙を分別収集することにより、①最終処分量を減らし、②リサイクルの意識向上・実践を促す。	回収量 272.1t	令和2年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度	成果	令和2年度	成果	令和3年度以降の予定
館林市	95	廃食用油の回収			廃食用油を公共施設（28施設）で回収し、リサイクルすることにより、①水質の悪化を防止し、②リサイクルの意識向上・実践を促す。	回収量 8,503 L	令和2年度と同様
館林市	96	廃タイヤ、廃消火器等の有料回収			環境保健委員協議会事業として、有料回収を行うことにより、①不法投棄の防止する。コロナ禍により、開催を中止した。	回収量 廃タイヤ 0本 廃消火器 0本	休止
館林市	97	古着・古布の回収			家庭の古着・古布を回収することにより、①最終処分量を減らし、②リサイクルの意識向上・実践を促す。	回収量 200kg	令和2年度と同様
館林市	98	庁舎等における機密古紙のリサイクル			庁内等の機密文書の古紙回収を行うことにより、①最終処分量を減らし、②リサイクルの意識向上・実践を促す。	回収量 30,720kg	令和2年度と同様
館林市	99	マイボトル運動のための給水スポット設置			公共施設、民間施設に給水スポットを設置することにより、①ペットボトル（プラスチックごみ）を減らし、②プラごみ削減の意識向上・実践を促す。	公共 124箇所 民間 0箇所	令和2年度と同様
館林市	100	分別アプリの運用			分別アプリを運用し、市民の導入を促進することにより、①3Rの意識向上・実践を促す。（対応言語 日本語／英語／中国語／ベトナム語）	ダウンロード数 2,151	令和2年度と同様
渋川市	101	廃食用油の拠点回収	家庭から排出される廃食用油を市内18箇所で拠点回収を実施	R元年度回収実績 8,100 k g	家庭から排出される廃食用油について市内18箇所で拠点回収を実施	R2年度回収実績 7,177 k g	令和2年度と同様
渋川市	102	廃蛍光管の拠点回収	家庭から排出される廃蛍光管（割れていないもの）を市内16箇所で拠点回収を実施	R元年度回収実績 2,000 k g	家庭から排出される廃蛍光管（割れていないもの）について市内16箇所で拠点回収を実施	R2年度回収実績 2,212 k g	令和2年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
渋川市	103	枝葉破砕機購入費補助	家庭から排出される枝木の減量化と資源化を図るため、枝葉破砕機の購入に対し助成を実施（購入費の1/2：上限額1万円）	R元年度補助件数実績 22件	家庭から排出される枝木の減量化と資源化を図るため、枝葉破砕機の購入に対し助成を実施（購入費の1/2：上限額1万円）	R2年度補助件数実績 36件	令和2年度と同様
渋川市	104	生ごみ処理機等購入費補助	家庭から排出される生ごみの減量化と資源化を図るため、生ごみ処理機等の購入に対し助成を実施（購入費の1/2：上限額コンポスト=3千円、EM菌容器=2千円、電動式=3万円）	R元年度補助件数実績 コンポスト：26件 EM菌：0件 電動式：10件	家庭から排出される生ごみの減量化と資源化を図るため、生ごみ処理機等の購入に対し助成を実施（購入費の1/2：上限額コンポスト=3千円、EM菌容器=2千円、電動式=3万円）	R2年度補助件数実績 コンポスト：18件 EM菌：0件 電動式：22件	令和2年度と同様
渋川市	105	資源ごみ集団回収に対する報奨金	ごみの減量化、リサイクル率の向上を図るため、回収量に応じ回収実施団体へ報奨金を支払う（1kgあたり8円）	R元年度回収実績 2,122 t	ごみの減量化、リサイクル率の向上を図るため、回収量に応じ回収実施団体へ報奨金を支払う（1kgあたり8円）	R2年度回収実績 1,798 t	令和2年度と同様
渋川市	106	しぶかわ環境まつり	(1)啓発コーナー、(2)1R：発生抑制コーナー、(3)2R：再利用コーナー、(4)3R：再資源化コーナー等を設置し、3Rの啓発を行った。	R元年度来場者実績 約3,300人	新型コロナウイルス感染症対策のため内容を変更し、資源のリサイクルを目的とした牛乳パック及び処理困難物の回収コーナーに限定して開催	R2年度来場者実績 約2,100人	新型コロナウイルス感染症対策のため、R3年度は牛乳パックの回収コーナーのみに限定して開催
渋川市	107	出前講座の実施	自治会等の団体を対象に、市のごみの現状と3Rについての講座を実施	R元年度実績 2団体 112人	自治会等の団体を対象に、市のごみの現状と3Rについての講座を実施	R2年度実績 1団体 30人	令和2年度と同様
渋川市	108	渋川市オリジナルエコバッグの作成	令和2年度実施予定	-	「プラスチックごみの削減」と、新型コロナウイルス感染症対策としての「新しい生活様式の啓発」の2つの目的から、オリジナルエコバッグを作成し、市内各世帯へ配布（令和2年度のみ実施）	-	
渋川市	109	インクカートリッジの拠点回収					家庭から排出されるインクカートリッジについて市内11箇所での拠点回収を実施

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
渋川市	110	小型充電式電池の拠点回収					家庭から排出される小型充電式電池について環境政策課窓口で拠点回収を実施
渋川市	111	指定ごみ袋「生ごみは入っていません袋」の配布					生ごみを堆肥化し、ごみとして排出しない世帯を対象として、専用指定ごみ袋「生ごみは入っていません袋」の無償配布を実施
渋川市	112	食品ロス実態調査の実施					家庭から排出される食品ロスの実態を調査し、食品ロスの削減を推進するための基礎資料を取得する目的として、食品ロス実態調査を実施
渋川市	113	フードドライブの実施					令和3年度実施予定
藤岡市	114	リサイクルプラザでのリユース	清掃センターに直接搬入された古着や家具などのリユースを行う。	環境意識の向上	清掃センターに直接搬入された古着や家具などのリユースを行う。	環境意識の向上	令和2年度と同様
藤岡市	115	古紙の行政回収、拠点回収	新聞紙、雑誌・雑がみ、ダンボール、紙パックに分別し、月2回ごみ収集所にて回収、及び清掃センターにて随時受入を行う。	H31回収実績 686.41t	新聞紙、雑誌・雑がみ、ダンボール、紙パックに分別し、月2回ごみ収集所にて回収、及び清掃センターにて随時受入を行う。	R2回収実績 764.59t	令和2年度と同様
藤岡市	116	廃食用油回収	家庭から排出される廃食用油について、収集所にて回収、及び清掃センターにて随時受入を行う。	H31回収実績 3,510kg	家庭から排出される廃食用油について、収集所にて回収、及び清掃センターにて随時受入を行う。	R2回収実績 4.36t	令和2年度と同様
藤岡市	117	剪定枝粉碎機の貸出し	可燃ごみとして排出される枝木類の減量化を図るため、剪定枝粉碎機の貸出を行う。	H31回収実績 73件	可燃ごみとして排出される枝木類の減量化を図るため、剪定枝粉碎機の貸出を行う。	R2貸出実績 87件	令和2年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
藤岡市	118	資源集団回収事業	ごみ減量とリサイクル推進のため、資源ごみ集団回収をした団体に対し、補助金を交付する。	H31回収実績 1,315.25 t	ごみ減量とリサイクル推進のため、資源ごみ集団回収をした団体に対し、補助金を交付する。	R2回収実績 1,141.23 t	令和2年度と同様
藤岡市	119	廃タイヤ・廃バッテリーの有料回収	年1回廃タイヤ・廃バッテリーの受入を行い、業者に有料で引き取ってもらっている。	清掃センターで扱っていない品目を回収する場を設けることで、不法投棄や野焼きを防止する。	年1回廃タイヤ・廃バッテリーの受入を行い、業者に有料で引き取ってもらっている。	清掃センターで扱っていない品目を回収する場を設けることで、不法投棄や野焼きを防止する。	令和2年度と同様
藤岡市	120	小学生を対象にした給食時の食品ロス削減の働きかけ	給食時に小学校を訪問し、食品ロス削減のため、一口でも多く食べてもらうように働きかけを行った。	喫食率91.0% (令和元年度)	給食時に小学校を訪問し、食品ロス削減のため、一口でも多く食べてもらうように働きかけを行った。	新型コロナウイルス感染症対策のため、喫食率の算出はしていない	令和2年度と同様
藤岡市	121	ごみの組成調査	平成2年2月1日衛環22号に基づき年4回実施	-	平成2年2月1日衛環22号に基づき年4回実施	-	令和2年度と同様
藤岡市	122	市内公共施設に給水スタンドの設置 (R3年度実施)	-	-	-	-	令和3年11月10日にウォータースタンド株式会社と協定を締結し、給水スタンドを市内公共施設へ設置します。これによりマイボトル普及を促進し、ペットボトルの使用量を削減する。新規事業としてR3年度より実施。
藤岡市	123	マイバッグ持参キャンペーンの実施	市内スーパーの店頭で枚バック持参を呼びかける運動を実施	8店舗×12回実施 チラシ配布枚数 17,980枚	市内スーパーの店頭で枚バック持参を呼びかける運動を実施	7店舗×6回実施 チラシ及びティッシュ配布枚数： 6,103枚	レジ袋有料化等により市民のマイバッグ持参意識が十分高まっていることなどを踏まえ、実施予定なし。
藤岡市	124	使用済みインクカードリッジ回収事業	-	-	ジット株式会社と協定を締結し、インクカードリッジを市庁舎へ設置することで、使用済みインクカードリッジの回収を開始した。	-	令和2年度と同様
富岡市	125	自走式剪定枝粉碎機(チップパー)の貸出し	可燃ごみとして排出される枝木類の減量化を図るため、剪定枝粉碎機の貸出しを開始した。	貸出件数135件	可燃ごみとして排出される枝木類の減量化を図るため、剪定枝粉碎機の貸出しをした。	貸出件数 193 件	令和2年度と同様
富岡市	126	自走式刈払機(ハンマーナイフ)の貸出し	耕作放棄地など雑草が繁茂する土地の適正管理を図り周辺環境の悪化を防止する目的で貸し出しを開始した。	貸出件数236件	耕作放棄地など雑草が繁茂する土地の適正管理を図り周辺環境の悪化を防止する目的で貸し出しをした。	貸出件数 275 件	令和2年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
富岡市	127	生ごみ減量化器具(コンポスト)の無償貸与	生ごみ減量化器具(コンポスト)を無償で貸与し、各家庭の生ごみの減量を促進する。	貸与台数81台	生ごみ減量化器具(コンポスト)を無償で貸与し、各家庭の生ごみの減量を促進する。	貸与台数 90 台	令和2年度と同様
富岡市	128	ぼかし作り講習会の実施	生ごみを、たい肥として自家処理するコンポスト使用時の匂いや虫の発生を抑制し、発酵を促進させる「ぼかし」の作り方講習会(無料)を実施した。	講習会回数9回 参加者人数80人	生ごみを、たい肥として自家処理するコンポスト使用時の匂いや虫の発生を抑制し、発酵を促進させる「ぼかし」の作り方講習会(無料)を実施した。	未実施 講習会回数 0回 参加者人数 0人	令和2年度と同様
富岡市	129	家庭用生ごみ処理機器購入費補助	生ごみの減量化や環境問題に対する意識の向上を図るため、生ごみ処理機器を購入した市民に対して購入額の1/2(上限15,000円)を補助した。	申請件数9件	生ごみの減量化や環境問題に対する意識の向上を図るため、生ごみ処理機器を購入した市民に対して購入額の1/2(上限15,000円)を補助した。	申請件数 3 件	令和2年度と同様
富岡市	130	有価物集団回収奨励事業	有価物集団回収を実施した登録団体に対し、その実績に応じて奨励金を交付し、ごみの減量化と再資源化を推進した。	回収実績 1,179,595 kg	有価物集団回収を実施した登録団体に対し、その実績に応じて奨励金を交付し、ごみの減量化と再資源化を推進した。	回収実績 941,777 kg	令和2年度と同様
富岡市	131	ゴミだしアプリの運用開始	市内各地域のごみ出し日とごみの種類をスマートフォンやタブレットで確認できる5374アプリ富岡版の運用を開始した。 ※H30年11月運用開始	-	市内各地域のごみ出し日とごみの種類をスマートフォンやタブレットで確認できる"5374アプリ富岡版"の運用。 ※H30年11月運用開始	-	令和2年度と同様
富岡市	132	廃食用油回収	家庭から排出される廃食用油を、不燃性資源ごみの日に集積所で回収を行っている。	回収量8,376kg	家庭から排出される廃食用油を、不燃性資源ごみの日に集積所で回収を行っている。	回収実績 8,480kg	令和2年度と同様
富岡市	133	ごみの組成調査	可燃ごみを6項目に分け割合の調査を行っている。	年4回実施	可燃ごみを6項目に分け割合の調査を行っている。	年4回実施	令和2年度と同様
安中市	134	古紙の行政回収、拠点回収	新聞紙、雑誌・雑がみ、ダンボール、紙バックに分別し、月1回ごみステーションにて回収、及び碓氷川クリーンセンターにて随時受入を行う。	回収実績 R元年度 370,490 k g	令和元年度と同様	回収実績 R2年度 502,020kg	令和2年度と同様
安中市	135	古着・古布の有価物集団回収	有価物集団回収にて回収を行う。	回収実績 R元年度 9,760 k g	令和元年度と同様	回収実績 R2年度 5,475kg	令和2年度と同様
安中市	136	古着・古布の行政回収、拠点回収	古紙行政回収と同じ日に、ごみステーションにて回収、及び碓氷川クリーンセンターにて随時受入を行う。	回収実績 R元年度 62,760 k g	令和元年度と同様	回収実績 R2年度 47,370kg	令和2年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
安中市	137	廃食用油拠点回収	家庭から排出される廃食用油について、市役所、支所、クリーンセンターの3箇所での拠点回収。	回収実績 R元年度 2,010kg	令和元年度と同様	回収実績 R2年度 2,304kg	令和2年度と同様
安中市	138	古紙の有価物集団回収	有価物集団回収にて回収を行う。	回収実績 R元年度 1,079,267kg	令和元年度と同様	回収実績 R2年度 731,875kg	令和2年度と同様
安中市	139	有価物集団回収奨励事業	有価物集団回収を実施した登録団体に対し、その実績に応じて奨励金を交付し、ごみの減量化と再資源化を推進した。	R元年度 10,970,400円	令和元年度と同様	R2年度 7,426,810円	令和2年度と同様
安中市	140	飲料缶・ペットボトルの拠点回収（エコ・コミュニティ事業）	家庭から排出される飲料缶・ペットボトルについて、市内21箇所での拠点回収。	回収実績 R元年度 158,940kg	令和元年度と同様	回収実績 R2年度 153,560kg	令和2年度と同様
安中市	141	生ごみ処理機等購入費補助	家庭から排出される生ごみの減量化と資源化を図るため、生ごみ処理機等の購入に対し助成を実施。 （購入費の1/2：上限額 コンポスト=3,000円、EM菌容器=2,000円、電気式=20,000円）	R元年度補助件数実績 コンポスト：16件 EM菌発酵式：0件 電気式：5件	令和元年度と同様	R2年度補助件数実績 コンポスト：30件 EM菌発酵式：0件 電気式：6件	令和2年度と同様
安中市	142	使用済インクカートリッジの拠点回収	家庭から排出されるインクカートリッジを市内3カ所で拠点回収。	回収実績 R元年度 8.2kg	令和元年度と同様	回収実績 R2年度 62.3kg	令和2年度と同様
安中市	143	オリジナルエコバックの作成・配布			オリジナルエコバックを作成し、全世帯に配布		
みどり市	144	集団回収奨励金	ごみ減量とリサイクル推進のため、資源ごみ集団回収を積極的に回収した団体に対して、引取業者の引取金額に応じて奨励金を交付。 古紙 6円/kg、缶類 5円/kg、ビン類 2円/本、繊維類 5円/kg	773t	ごみ減量とリサイクル推進のため、資源ごみ集団回収を積極的に回収した団体に対して、引取業者の引取金額に応じて奨励金を交付。 古紙 6円/kg、缶類 5円/kg、ビン類 2円/本、繊維類 5円/kg	408t	ごみ減量とリサイクル推進のため、資源ごみ集団回収を積極的に回収した団体に対して、引取業者の引取金額に応じて奨励金を交付。 古紙 6円/kg、缶類 5円/kg、ビン類 2円/本、繊維類 5円/kg
みどり市	145	生ごみ減量化対策補助金	一般家庭から排出される生ごみの減量化及び再利用の促進を図るため、生ごみ処理機等の購入金額の1/2を補助。	8件	一般家庭から排出される生ごみの減量化及び再利用の促進を図るため、生ごみ処理機等の購入金額の1/2を補助。	17件	一般家庭から排出される生ごみの減量化及び再利用の促進を図るため、生ごみ処理機等の購入金額の1/2を補助。
みどり市	146	廃食用油の回収	家庭から出る廃食用油を市内3カ所で拠点回収を行っている。	3,395 ^{リットル}	家庭から出る廃食用油を市内3カ所で拠点回収を行っている。	4,282 ^{リットル}	家庭から出る廃食用油を市内3カ所で拠点回収を行う。

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
みどり市	147	使用済み小型家電の回収	市庁舎、公民館6カ所に回収ボックスを設置し、小型家電を回収。	378.2kg	市庁舎、公民館6カ所に回収ボックスを設置し、小型家電を回収。 7月より宅配便による回収を開始。	1,638.2kg	市庁舎、公民館6カ所に回収ボックスを設置し、小型家電を回収。 宅配便による回収を実施。
みどり市	148	使用済みインクカートリッジの回収	一般家庭からでる、インクカートリッジを市内4カ所で拠点回収を行っている。	36kg	一般家庭からでる、インクカートリッジを市内4カ所で拠点回収を行っている。	37kg	一般家庭からでる、インクカートリッジを市内4カ所で拠点回収を行う。
みどり市	149	古着・古布回収	市内3カ所に回収ボックスを設置して回収を行い、資源回収業者によって、海外にリユースされる。	23.5 t	市内3カ所に回収ボックスを設置して回収を行い、資源回収業者によって、海外にリユースされる。 5月より休止。	0.56t	新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の流通が停滞しているため、休止中。
みどり市	150	ごみの組成調査	桐生市清掃センターが年4回実施	-	桐生市清掃センターにおいて、年4回実施	-	桐生市清掃センターにおいて、年4回実施
みどり市	151	廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収	年1回廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収を実施した。	回収実績 タイヤ等1,427本 バッテリー74個 消火器135個	年1回廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収を実施した。	回収実績 タイヤ等2,262本 バッテリー98個 消火器106個	年1回廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収を実施。
みどり市	152	食べきり協力店					食品ロスの削減を推進するため、食べ残し等の削減に取り組む飲食等を協力店として登録。 令和3年12月中に実施予定。
榛東村	153	資源ごみストックハウスの設置	毎週土日に資源ごみ（11品目）の拠点回収を行っている。	令和元年度の実績として合計84 tの回収実績があった。	毎週土日に資源ごみ（11品目）の拠点回収を行っている。	令和2年度の実績として合計100 tの回収実績があった。	令和2年度と同様
榛東村	154	資源ごみ回収団体報奨金の交付	集団回収を行う団体に回収回数・回収量に応じて報奨金を交付する。	令和元年度、回収実績143,864kg。	集団回収を行う団体に回収回数・回収量に応じて報奨金を交付する。	令和2年度、回収実績84,975kg。	令和2年度と同様
榛東村	155	エコフェスタ（環境祭）の実施	住民の環境への意識の向上や3Rの推進を図るため、毎年1回開催し啓発活動等を行っている。	来場者数約500人	住民の環境への意識の向上や3Rの推進を図るため、毎年1回開催し啓発活動等を行っている。	来場者数約200人	令和2年度と同様
榛東村	156	廃タイヤ・廃バッテリーの有料回収。	上記エコフェスタ（環境祭）で廃タイヤ・廃バッテリーのイベント回収（有料）を行っている。	利用者多数	上記エコフェスタ（環境祭）で廃タイヤ・廃バッテリーのイベント回収（有料）を行っている。	来場者数約200人	令和2年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
榛東村	157	古着・古布の回収	上記エコフェスタおよびストックハウスで古着・古布の無料回収を行っている。	令和元年度、回収実績3,340kg。	上記エコフェスタおよびストックハウスで古着・古布の無料回収を行っている。	令和2年度、回収実績2,250kg。	令和2年度と同様
榛東村	158	生ごみ処理容器購入費補助	家庭から排出される生ごみの減量化を図るため、1世帯につき2基まで生ごみ処理容器の購入費を補助する。(上限1基あたり3,000円)	令和元年度、補助件数3件	家庭から排出される生ごみの減量化を図るため、1世帯につき2基まで生ごみ処理容器の購入費を補助する。(上限1基あたり3,000円)	令和2年度、補助件数14件	令和2年度と同様
榛東村	159	使用済インクカートリッジ(拠点)回収			令和2年度からストックハウス(資源ごみの拠点回収所)に回収BOXを設置。	令和2年度、2kg回収。	令和2年度と同様
榛東村	160	小型充電式電池回収事業			電子機器等リサイクルBOXを設置。同BOXで小型充電式電池についても回収。	処理困難物の適正処理の推進	令和2年度と同様
吉岡町	161	廃タイヤ・バッテリー及び使用済み小型家電の回収	役場駐車を拠点回収会場とし、廃タイヤ・バッテリー及び小型家電の回収を行った。(年1回)	タイヤ 355本 バッテリー 42個 小型家電 2,080Kg	役場駐車を拠点回収会場とし、廃タイヤ・バッテリー及び小型家電の回収(年1回)	タイヤ 568本 バッテリー 65個 小型家電 3,410Kg	令和2年度と同様
吉岡町	162	資源ごみ集団回収に対する補助	自治会、子供会等が実施する集団回収に対して、回収品目ごとの単価により補助金を交付	370,705Kg	自治会、子供会等が実施する集団回収に対して、回収品目ごとの単価により補助金を交付	255,502kg	令和2年度と同様
吉岡町	163	宅配便を利用した使用済み小型家電の回収	-	-	住民が梱包した使用済み小型家電を宅配業者が回収し、協力事業者へ運搬	123.5kg	令和2年度と同様
吉岡町	164	使用済インクカートリッジの拠点回収	-	-	町有施設(2箇所)に使用済インクカートリッジの無料回収BOXを設置	段ボール(中サイズ)3箱分	令和2年度と同様
上野村	165	資源ごみ(古紙類)の回収	従来可燃ゴミで処理していた古紙類を資源ごみとして回収	27,420kg	従来可燃ゴミで処理していた古紙類を資源ごみとして回収	33050kg	従来可燃ゴミで処理していた古紙類を資源ごみとして回収

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
神流町	166	廃タイヤ、廃バッテリー、消火器の一部有料回収	不法投棄対策の一環として町内家庭の廃タイヤ、廃バッテリー、消火器の一部有料回収を実施した。タイヤの金属部分とバッテリーについては有価物として売却した。	実績：廃タイヤ81本、タイヤホイール11本、バッテリー3個、消火器34本	新型コロナウイルス感染症の影響で実施なし	実施なし	新型コロナウイルス感染症の感染状況で令和元年度の形で実施していきたい。
下仁田町	167	有価物集団回収に対する補助制度	ごみの減量化と資源のリサイクルを図るため、有価物を集団で回収した団体に5円/kgを補助する。	18団体が実施 紙類66,340kg 布類2,020kg ビン類413本 缶類3,790kgを回収	ごみの減量化と資源のリサイクルを図るため、有価物を集団で回収した団体に5円/kgを補助する。	12団体が実施 紙類28,960kg 布類340kg ビン類104本 缶類900kgを回収	令和2年度と同様
下仁田町	168	家庭用生ごみ処理機購入に対する補助制度	生ごみの減量化を理解していただき、自家処理を推進していただける方に購入金額の1/2を補助する。(25,000円が限度額)	2件補助を実施	生ごみの減量化を理解していただき、自家処理を推進していただける方に購入金額の1/2を補助する。(25,000円が限度額)	2件補助を実施	令和2年度と同様
下仁田町	169	ごみ収納箱の設置に対する補助制度	自治会等が集団回収用のごみ収納箱を設置する際、経費の1/2を補助する。(50,000円が限度額)	収納箱2基 カラス除けネット14か所に補助を実施	自治会等が集団回収用のごみ収納箱を設置する際、経費の1/2を補助する。(50,000円が限度額)	収納箱1基の補助を実施	令和2年度と同様
下仁田町	170	30・10運動(宴会時の食品ロス対策のために宴会開始・終了時の一定時間、着席等を促す運動)に係る普及啓発	役場関係機関の宴席での事業内容の周知を実施	持ち帰り等も含め食べ残しゼロを実施できた	新型コロナウイルス感染拡大防止のため集団での飲食は実施していないためPR等は行っていない。		新しい生活様式の中で、どのような取り組みが可能か検討しPRを行う
南牧村	171	有価物集団回収補助金	有価物集団回収補助金8円/kg補助0	令和元年度33,347kg	有価物集団回収補助金8円/kg補助	令和2年度26,504kg	令和2年度と同様
甘楽町	172	古着の回収	衣類は通常可燃ごみとして回収しているが、年1回古着の回収日を設けてリユースを目的として回収している。	回収量：11t	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	中止	令和2年度は中止となったが、令和3年度はすでに実施済みであり、約14tの古着を回収した。今後も継続して事業を実施する予定。

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
甘楽町	173	廃食用油回収の推進	廃油回収事業者と契約締結し、月1回の拠点回収・売払い(6円/ℓ)を実施し、家庭から排出される廃食用油の資源化を推進。	回収量：3,408ℓ 売払額：20,448円	同左	回収量：3,492ℓ 売払額：20,947円	令和2年度と同様
甘楽町	174	廃蛍光管回収の推進	分別収集日に蛍光管等の拠点回収を実施	回収量：984kg	同左	回収量：1,020kg	令和2年度と同様
甘楽町	175	生ごみ処理機設置補助金	一般家庭から排出される生ごみの減量化及び再利用の促進を図るため、電動式生ごみ処理機の購入金額の1/2を補助。(限度額30,000円)	5件	同左	1件	令和2年度と同様
甘楽町	176	生ごみ処理器(コンポスト・水切り容器・タイヒパウダー)購入斡旋・補助	一般家庭から排出される生ごみの減量化と再利用の促進を図るため、コンポスト、水切り容器、タイヒパウダー(発酵促進剤)の購入金額の一部を補助。	コンポスト 39個 水切り容器 36個 タイヒパウダー 362本	同左	コンポスト 24個 水切り容器 20個 タイヒパウダー 312本	令和2年度と同様
甘楽町	177	資源リサイクル事業【リサイクル奨励】	子どもたちに集団回収を通じて、リサイクルの大切さや環境意識の啓発を図る目的で、奨励金を交付。 対象品目：紙類、缶類、ビン類	回収量 128,620kg	同左	新型コロナウイルス感染症の影響により集団回収の実施なし	令和2年度と同様
甘楽町	178	資源リサイクル事業【分別収集奨励】	各行政区を対象に、ごみの減量化・資源化を奨励・推進するため、分別収集の徹底や排出品の質の向上等を目的として奨励金を交付。 対象品目：紙類、缶類、ビン類	回収量：348,408kg	同左	回収量：404,136kg	令和2年度と同様
甘楽町	179	廃タイヤ・廃バッテリー・自転車等の有料回収	普段の収集では扱っていない品目を回収する場を設けることで、不法投棄や野焼きを防止する。	タイヤ 476本 バッテリー 48個 ホイール 279個 自転車等 170台 他	同左	タイヤ 341本 バッテリー 60個 ホイール 164個 自転車等 184台 他	令和2年度と同様
甘楽町	180	役場庁舎等における古紙リサイクル	役場庁舎等から排出される古紙類は分別し、可燃ごみではなく資源ごみとして再生処理している。	-	同左	-	令和2年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
甘楽町	181	甘楽町オリジナルエコバッグの作成			レジ袋有料化に伴い、レジ袋サイズのエコバッグを製作・全戸配布し、エコバッグの利用促進に取り組んだ。	-	
中之条町	182	古着古布の回収	吾妻東部衛生センターにおいて直接搬入場合に限り、古着、古布を拠点回収している。	R元年度回収実績 4.31t	令和元年度と同様	R2年度回収実績 5.0t	令和2年度と同様
中之条町	183	資源集団回収奨励金	集団回収を実施した団体に対し、回収量に応じ奨励金を交付（5円/kg） 対象：新聞・雑誌・ダンボール 下限5千円上限2万円	R元年度回収実績 93.0t	令和元年度と同様	R2年度回収実績 25t	令和2年度と同様
中之条町	184	生ゴミ処理機等購入補助金	生ゴミ処理機等の購入費の1/2を補助（上限2万円）	R元年度実績 生ゴミ処理機 1件 コンポスト 4件	令和元年度と同様 対象機器に枝葉破砕機を追加	R元年度実績 生ゴミ処理機 4件 コンポスト 5件 枝葉破砕機 1件	令和2年度と同様
中之条町	185	廃食用油の回収	家庭から出る廃食用油を町内2カ所で拠点回収を行っている。（H30年度以前から実施）	町内の社会福祉法人に提供	令和元年度と同様	町内の社会福祉法人に提供	令和2年度と同様
中之条町	186	使用済インクカートリッジの拠点回収	一般家庭からでる、インクカートリッジの拠点回収を行っている。	-	令和元年度と同様	-	令和2年度と同様
中之条町	187	小型充電式電池回収	小型充電式電池の回収協力自治体に登録し拠点回収を行っている	処理困難物の適正処理の推進	令和元年度と同様	処理困難物の適正処理の推進	令和2年度と同様
長野原町	188	有価物集団回収奨励	有価物を集団回収した団体に対して奨励金を交付（2円/kg）	回収量 R元年度 33,042kg	有価物を集団回収した団体に対して奨励金を交付（2円/kg）	回収量 R2年度 29,420kg	令和2年度と同じ

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
長野原町	189	生ごみ処理機器等 購入補助	生ごみ処理機器等の購入者に対して購入費用の一部を補助（購入価格の1,000円を超えた額を補助 上限2万円）	補助件数 R元年度 8件	生ごみ処理機器等の購入者に対して購入費用の一部を補助（購入価格の1,000円を超えた額を補助 上限2万円）	補助件数 R2年度 13件	令和2年度と同じ
長野原町	190	使用済インクカートリッジ（拠点）回収	庁舎内の交流スペースに使用済みインク及びトナーカートリッジの無料回収BOXを設置	回収専用袋3袋程度（量は不明）回収の後、リサイクル業者へ引渡し	役場庁舎内の一面に回収BOXを設置し、使用済インク・トナーカートリッジの無料回収を実施	回収用ごみ袋9003袋分のインク・トナーカートリッジをリサイクル業者へ引渡し	令和2年度と同じ
嬬恋村	191	廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収	年1回の定期開催による廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収	廃タイヤ288本 ホイール128本 消火器15本他	年1回の定期開催による廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収	廃タイヤ1,008本 ホイール515本 バッテリー27 消火器35本	年1回の定期開催による廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収
嬬恋村	192	生ごみ処理機の購入費助成	嬬恋村環境衛生組合を通じ、可燃ごみとして排出される生ごみの減量化を図るため、コンポスト及び電動式生ごみ処理機の購入補助	元年度実績 コンポスト 2件 電動生ゴミ処理器 1件	嬬恋村環境衛生組合を通じ、可燃ごみとして排出される生ごみの減量化を図るため、コンポスト及び電動式生ごみ処理機の購入補助	コンポスター6件 電動式生ごみ処理器1件	焼却容器購入費補助を追加
嬬恋村	193	使用済インクカートリッジ拠点回収	-	-	使用済みインクカートリッジの回収拠点を公共施設に2箇所設置	1箱回収	使用済みインクカートリッジの回収拠点を公共施設に2箇所設置
嬬恋村	194	小型家電の自宅回収					パソコンを中心にした小型家電の自宅回収
草津町	195	有価物集団回収奨励事業	集団回収を行う団体に対して4円/kgの奨励金を交付する。	75,601kgの回収実績。	令和元年度と同様	33,890kgの回収実績。	令和2年度と同じ
草津町	196	事業系ごみの段ボール及び新聞紙の分別回収	可燃ごみとしていた事業所より排出される段ボール及び新聞紙を、資源ごみとして分別するよう協力依頼を行い回収する。	段ボール229,460kg 新聞紙 3,720kg	令和元年度と同様	段ボール161,710kg 新聞紙 5,710kg	令和2年度と同じ
草津町	197	羽毛布団の回収	クリーンセンターに持ち込まれた羽毛布団について他の布団と分別し再生業者に引き渡す。	300kgの回収実績。	令和元年度と同様	197kgの回収実績。	令和2年度と同じ

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
草津町	198	30・10運動（宴会時の食品ロス対策のために宴会開始・終了時の一定時間、着席等を促す運動）に係る普及啓発	30・10運動（宴会時の食品ロス対策のために宴会開始・終了時の一定時間、着席等を促す運動）に係る普及啓発		コロナ感染症対策のため会食等の開催が制限されていたため、啓発活動も行わなかった。		コロナ感染症が落ち着き、会食等の開催が行われるようになり次第、普及啓発も再開予定。
高山村	199	古着・古布の回収	拠点回収の品目に古着・古布を追加。集めた古着・古布は、資源回収業者により、リユースされる。	令和元年度回収実績 0.76 t	拠点回収の品目に古着・古布を追加。集めた古着・古布は、資源回収業者により、リユースされる。	令和2年度回収実績 1.0 t	令和2年度と同じ
高山村	200	生ゴミ処理機等購入補助金	生ゴミ処理機 補助率1/2（上限20,000円） コンポスト 補助率1/2（上限3,000円）	令和元年度実績 0件 0件	生ゴミ処理機 補助率1/2（上限20,000円） コンポスト 補助率1/2（上限3,000円）	令和2年度実績 0件 2件	令和2年度と同じ
高山村	201	もったいない推進活動事業	エコキャップ回収 （アルファジャパンに無償提供） 廃食廃油回収 （ほほえみ公社に無償提供）	令和元年度実績 170kg 406 ^{kg}	エコキャップ回収 （アルファジャパンに無償提供） 廃食廃油回収 （ほほえみ公社に無償提供）	令和2年度実績 290kg 438 ^{kg}	令和2年度と同じ
東吾妻町	202	古着古布回収	吾妻東部衛生センターにおいて、直接搬入する場合に限り、古着・古布を拠点回収している。	R元回収実績 3.42t	吾妻東部衛生センターにおいて、直接搬入する場合に限り、古着・古布を拠点回収している。	R2回収実績4.52t	令和2年度と同じ
東吾妻町	203	資源集団回収奨励金	集団回収の実施団体に対し、回収量に応じ奨励金を交付 下限5,000円・上限15,000円 1団体で年3回を限度	R元回収実績 57.3t	集団回収の実施団体に対し、回収量に応じ奨励金を交付 下限5,000円・上限15,000円 1団体で年3回を限度	R2回収実績 43.5t	令和2年度と同じ
東吾妻町	204	生ゴミ処理機等設置費補助金	生ゴミ処理機等購入費の1/2を補助 上限20,000円	R元補助実績 6件	生ゴミ処理機等購入費の1/2を補助 上限20,000円	R2補助実績 9件	令和2年度と同じ
東吾妻町	205	剪定枝粉砕器の貸出			可燃ゴミとして排出される枝木類の減量化を図るため、剪定枝粉砕機（チップパー）を貸し出した。	R2補助実績 56件	令和2年度と同じ

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
東吾妻町	206	使用済みインクカートリッジ回収			使用済みインクカードリッジ回収ボックスを役場庁舎に設置。	—	令和2年度と同じ
片品村	207	庁舎内及び学校施設から排出される古紙類、ダンボール類の売却	庁舎内及び学校施設より排出される古紙類、ダンボール類を契約した業者に売却している。 (個人情報等が記載される重要書類を除く)	平成30年度と同様。	庁舎内及び学校施設より排出される古紙類、ダンボール類を契約した業者に売却している。 (個人情報等が記載される重要書類を除く)	令和元年度と同様。	令和2年度と同じ
片品村	208	廃食用油の回収	村内一部地区のごみ収集棚にドラム缶を設置し、家庭から出る廃食用油を回収する。 また、年1回のイベント回収も実施している。	平成30年度と同様。	村内一部地区のごみ収集棚にドラム缶を設置し、家庭から出る廃食用油を回収する。 これまで年1回、イベント開催に併せた回収を行っていたが、コロナの関係によりイベントが中止となり、同時開催が実施できなかった。	イベント中止により、村民への周知ができなくなり、イベント回収による量の分が減った。	通常のドラム缶からの回収は実施予定。コロナの影響により各イベント開催が左右されるため、今後の同時開催は状況を見て判断する。
片品村	209	廃タイヤ・廃バッテリー及びスキー用具の有料回収	年1回廃タイヤ、ホイール、廃バッテリー、スキー用具を村民が会場に持ち込み、業者に有料で引き取ってもらっている。	平成30年度と同様。	年1回廃タイヤ、ホイール、廃バッテリー、スキー用具を村民が会場に持ち込み、業者に有料で引き取ってもらっている。	コロナの影響により秋に開催。回収時期がずれたためか、普段より数量が多く出るなどの変化があった。	令和3年度以降も実施の予定。ただし、コロナの影響によっては開催時期をずらす可能性あり。
片品村	210	古着のイベント回収	古着等を村内で行われるイベントの場で回収を行う。 (月1回資源回収する計画を進めているため、それが開始されるまでの間実施する。)	平成30年度と同様。	古着等を村内で行われるイベントの場で回収を行う。	例年は年2回イベント回収を実施していたが、コロナの影響で1回しかできなかった。また、中国や海外の輸出状況の変動により、業者との回収内容に変更が出た。	コロナの影響にイベント開催が左右されるため、実施時期は未定。海外の輸出状況から需要も減っているため、実施可能かどうか不明。令和3年度は回収・保管方法が困難ということで実施は取りやめた。
川場村	211	生ごみ処理機購入補助	一般家庭から排出される生ごみの減量化及び再利用の促進を図るため、生ごみ処理機等の購入金額の1/2を補助	R元交付実績 1件	一般家庭から排出される生ごみの減量化及び再利用の促進を図るため、生ごみ処理機等の購入金額の1/2を補助	令和2年交付実績 5件	購入金額の2/3補助に変更 上限20,000→上限30,000円
川場村	212	古着・古布の回収	年に2回開催される粗大ごみ収集の際に、古着・古布の回収を追加した。	R元回収量 520kg	年に2回開催される粗大ごみ収集の際に、古着・古布の回収を実施。	令和2年回収量 970kg	令和2年度と同じ

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
川場村	213	廃タイヤの回収	年に2回開催される粗大ごみ収集の際に、廃タイヤの回収を実施。	R元回収量 4,253kg	年に2回開催される粗大ごみ収集の際に、廃タイヤの回収を実施。	令和2年回収量 7,900kg	令和2年度と同じ
川場村	214	廃蛍光管の回収	年に2回開催される粗大ごみ収集の際に、廃蛍光管の回収を実施。平時のごみステーションに搬出することも可能。	R元回収量 250kg	年に2回開催される粗大ごみ収集の際に、廃蛍光管の回収を実施。平時のごみステーションに搬出することも可能。	令和2年回収量 300kg	令和2年度と同じ
川場村	215	廃食用油の回収	家庭から出る廃食用油を回収する。	R元回収量 376kg	家庭から出る廃食用油を回収する。	令和2年回収量 364kg	令和2年度と同じ
川場村	216	使用済インクカートリッジの拠点回収			使用済インクカートリッジ回収ボックスを役場正面玄関に設置。	—	令和2年度と同じ
昭和村	217	資源集団回収奨励金	家庭から排出される再生利用可能な資源物（紙類、かん、びん、ペットボトル、容器包装プラスチック等）を、村民が集団で回収する事業。回収量に応じて奨励金を交付する。	R元実績：341t	家庭から排出される再生利用可能な資源物（紙類、かん、びん、ペットボトル、容器包装プラスチック等）を、村民が集団で回収する事業。回収量に応じて奨励金を交付する。	R2実績 354t	令和2年度と同じ
昭和村	218	生ごみ処理機等購入費補助	家庭から排出される生ごみの自家処理を推進し、生ごみの減量化及び生活環境の向上を図るため、生ごみ処理機等を購入し、設置した者に対し補助金を交付する。1世帯につき、2万円を限度に購入費用の2分の1の額を補助。	R元実績 3件	家庭から排出される生ごみの自家処理を推進し、生ごみの減量化及び生活環境の向上を図るため、生ごみ処理機等を購入し、設置した者に対し補助金を交付する。1世帯につき、2万円を限度に購入費用の2分の1の額を補助。	R2実績 4件	令和2年度と同様
昭和村	219	廃タイヤ・廃バッテリーなどの有料回収	年3回実施している粗大ごみ回収日のうち、8月開催の日に廃タイヤ（ホイール付）・廃バッテリーも合わせて回収を行い、業者に有料で引き取ってもらっている。	R元実績 タイヤ102本	年3回実施している粗大ごみ回収日のうち、8月開催の日に廃タイヤ（ホイール付）・廃バッテリーも合わせて回収を行い、業者に有料で引き取ってもらっている。	R2実績 タイヤ196本	令和2年度と同じ
昭和村	220	廃蛍光管・廃乾電池の回収	有害ごみの日に、各ステーションで蛍光管・乾電池の回収を実施	R元実績 蛍光管 960kg 乾電池 2,305kg	有害ごみの日に、各ステーションで蛍光管・乾電池の回収を実施	R2実績 蛍光管 635kg 乾電池 2,120kg	令和2年度と同じ

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
みなかみ町	221	資源集団回収奨励金	家庭から排出される再生利用可能な資源物（古紙類、かん、びん、ペットボトル）を、町民が集団で回収する事業。回収量に応じて奨励金を交付する。	搬入 81 t	家庭から排出される再生利用可能な資源物（古紙類、かん、びん、ペットボトル）を、町民が集団で回収する事業。回収量に応じて奨励金を交付する。	搬入 79 t	令和2年度と同じ
みなかみ町	222	衣類・古布類の資源化	衣類・古布類を資源回収業者によりリユースしている。	搬出 61 t	衣類・古布類を資源回収業者によりリユースしている。	搬出 106 t	令和2年度と同じ
みなかみ町	223	生ごみの分別収集	家庭から排出される生ごみを分別収集し、町営肥料化施設で肥料化する。	搬入 535 t	家庭から排出される生ごみを分別収集し、町営肥料化施設で肥料化する。	搬入 603 t	令和2年度と同じ
みなかみ町	224	ごみ分別アプリ導入	スマートフォン等の携帯端末で、ごみの収集日や分別表を確認できる携帯アプリの運用。	累計DL 1129件	スマートフォン等の携帯端末で、ごみの収集日や分別表を確認できる携帯アプリの運用。	累計DL 1340件	令和2年度と同じ
みなかみ町	225	廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収	年2回の廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収を実施した	回収実績 44,120kg	年2回の廃タイヤ・廃バッテリー・消火器の有料回収を実施した	回収実績 65,355kg	令和2年度と同じ
みなかみ町	226	廃蛍光灯・廃乾電池の回収	家庭から排出される廃蛍光灯・廃乾電池のステーション回収及び直接搬入により回収	回収実績 12,880kg	家庭から排出される廃蛍光灯・廃乾電池のステーション回収及び直接搬入により回収	回収実績 9,210kg	令和2年度と同じ
玉村町	227	古着・古布の回収	子ども会等で行う集団回収に古着・古布類を回収品目に加え、粗大ごみとして直接搬入された古着類を、ピックアップにて回収し資源化。平成27年度から拠点回収を実施。令和元年度現在で、公共施設7カ所、保育所5カ所。平成29年度から収集分別区分を変更しゴミステーションからも回収。	R元回収実績 50,370kg	R元年度と同様	R2回収実績 62,410kg	品目にかばん・布団を追加
玉村町	228	木質系ごみの資源化	剪定枝や粗大ごみとして直接搬入された家具類を焼却処分していたが、燃料チップにする中間処理業者に資源化委託。	R元回収実績 591,040kg	R元年度と同様	R2回収実績 612,290kg	令和2年度と同じ
玉村町	229	ガラス・陶磁器類の資源化	家庭から排出されるガラス・陶磁器類は不燃残渣として埋立処分していたが、土木資材等にする中間処理業者に資源化委託。	R元回収実績 83,400kg	R元年度と同様	R2回収実績 97,380kg	令和2年度と同じ

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
玉村町	230	焼却残渣の資源化	焼却施設で発生する焼却灰（主灰）をコンクリート原料に再生する資源化施設へ委託。	R元回収実績 53,490kg	R元年度と同様	R2回収実績 100,090kg	R2年度と同様
玉村町	231	ごみ分別アプリ導入	スマートフォン等の携帯端末で、ごみの収集日や分別表を確認できる携帯アプリの運用。	R元実績 1,180人が登録	R元年度と同様	R2実績（累計） 1,449人が登録	R2年度と同様
玉村町	232	廃タイヤ・廃バッテリーの有料回収	年1回廃タイヤ・廃バッテリー等の受入を行い、業者に有料で引き取ってもらっている。	R元回収実績 185件	R元年度と同様	R2実績 224件	R2年度と同様
玉村町	233	生ごみ処理機購入補助	家庭内で発生した生ごみの自家処理及び減量化を図るため、生ごみ処理機器を購入した町民に対して購入額の1/2を補助（上限25,000円）。	R元回収実績 9件	R元年度と同様	R2実績 12件	R2年度と同様
玉村町	234	木質系ごみのリユース	直接搬入された枝木を薪の販売業者に売却。				R3年度より開始
板倉町	235	廃食用油の回収	各公民館（町内4箇所）において回収・収集	R元年度実績 1.88 t	各公民館（町内4箇所）において回収・収集	R02年度実績 1.87トン	各公民館（町内4箇所）において回収・収集
板倉町	236	廃蛍光管の回収	各公民館（町内4箇所）において回収・収集	R元年度実績 0.61 t	各公民館（町内4箇所）において回収・収集	R02年度実績 0.94トン	各公民館（町内4箇所）において回収・収集
板倉町	237	集団回収助成金交付事業	町内において資源ごみを回収する団体へ助成金を交付。	R元年度実績 新聞 71.38 t、雑誌24.58 t、段ボール 23.42 t、牛乳パック 0.24 t、アルミ缶 5.52 t、ビン 0.1 t	町内において資源ごみを回収する団体へ助成金を交付。	R02年度実績 新聞 26.00トン 段ボール 17.84トン 雑誌 9.45トン 牛乳パック 1.00トン アルミ缶 5.88トン びん 0.00トン	町内において資源ごみを回収する団体へ助成金を交付。
板倉町	238	研修会	ごみ分別や立ち合い指導を担う町生活環境推進員（※町長より委嘱）に対して、ごみ処理やごみ減量につながるような研修会を実施 【内容】町生活環境推進員の役割、ごみ分別方法（区民からの問い合わせに対応できるように）	-	ごみ分別や立ち合い指導を担う町生活環境推進員（※町長より委嘱）に対して、ごみ処理やごみ減量につながるような研修会を実施 【内容】町生活環境推進員の役割、ごみ分別方法（区民からの問い合わせに対応できるように）	-	ごみ分別や立ち合い指導を担う町生活環境推進員（※町長より委嘱）に対して、ごみ処理やごみ減量につながるような研修会を実施 【内容】町生活環境推進員の役割、ごみ分別方法（区民からの問い合わせに対応できるように）

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
板倉町	239	30・10運動（宴会時の食品ロス対策のために宴会開始・終了時の一定時間、着席等を促す運動）に係る普及啓発	生活環境推進員の研修会時に啓発資料を配布	生活環境推進員を通じた普及啓発	生活環境推進員の研修会時に啓発資料を配布 ※新型コロナウイルス蔓延に伴い、書面研修	生活環境推進員を通じた普及啓発	生活環境推進員の研修会時に啓発資料を配布 ※新型コロナウイルス蔓延に伴い、書面研修
板倉町	240	ごみの組成調査	食品ロス実態調査を実施	食品ロスの状況を把握			
明和町	241	再生資源集団回収事業	資源ごみを集団回収した町内の団体及び町内業者に対し、実績に応じて助成金を交付することにより、資源の再利用を推進しごみの減量化を図る。 （団体7円/kg 業者2円/kg）	令和元年度実績 166 t	資源ごみを集団回収した町内の団体及び町内業者に対し、実績に応じて助成金を交付することにより、資源の再利用を推進しごみの減量化を図る。 （団体7円/kg 業者4円/kg）	令和2年度実績 37t	資源ごみを集団回収した町内の団体及び町内業者に対し、実績に応じて助成金を交付することにより、資源の再利用を推進しごみの減量化を図る。 （団体7円/kg 業者4円/kg）
明和町	242	ごみ減量化器具購入費助成事業	家庭内で発生する生ごみを自家処理するためにごみ減量化器具を購入したのに対し、購入費の一部を助成する。 （購入金額の1/2で上限3万円）	令和元年度実績 2件	家庭内で発生する生ごみを自家処理するためにごみ減量化器具を購入したのに対し、購入費の一部を助成する。 （購入金額の1/2で上限3万円）	令和2年度実績 4件	家庭内で発生する生ごみを自家処理するためにごみ減量化器具を購入したのに対し、購入費の一部を助成する。 （購入金額の1/2で上限3万円）
明和町	243	古着収集	資源ごみ収集所（町内3か所）にて収集	令和元年度実績 54.5 t	資源ごみ収集所（町内3か所）にて収集	令和2年度実績 55.9 t	資源ごみ収集所（町内3か所）にて収集
明和町	244	古紙収集	資源ごみ収集所（町内3か所）及び地区収集所にて分別収集	令和元年度実績 新聞紙：87.0 t 段ボール：60.0 t 紙パック：2.2 t 雑誌：66.4 t 雑紙：53.2 t	資源ごみ収集所（町内3か所）及び地区収集所にて分別収集	令和2年度実績 新聞紙：207.9 t 段ボール：82.4 t 紙パック：2.7 t 雑誌：94.2 t 雑紙：59.1 t	資源ごみ収集所（町内3か所）及び地区収集所にて分別収集
明和町	245	廃食用油収集	資源ごみ収集所（町内3か所）にて収集	令和元年度実績 1,860 L	資源ごみ収集所（町内3か所）にて収集	令和2年度実績 1,984 L	資源ごみ収集所（町内3か所）にて収集
明和町	246	廃携帯電話収集	資源ごみ収集所（町内3か所）にて収集 （携帯電話）	令和元年度実績 携帯電話：0 kg	資源ごみ収集所（町内3か所）にて収集 （携帯電話）	令和2年度実績 携帯電話：0 kg	資源ごみ収集所（町内3か所）にて収集 （携帯電話）
明和町	247	リサイクル啓発事業	廃棄された古着等を裂いて横糸にし、様々な模様を専用の織機で織り込んだ布を裁断加工し、バッグや暖簾などの製品を作成しイベント等で販売	町内のイベント等でPRを行い、リサイクル品の展示、販売を行った。	廃棄された古着等を裂いて横糸にし、様々な模様を専用の織機で織り込んだ布を裁断加工し、バッグや暖簾などの製品を作成した。	町内のイベントが中止になり十分なPRをおこなえなかった。	廃棄された古着等を加工し、バッグや暖簾などの製品を作成。資源ごみ収集所においてイベントスタンプを行い、PRを行う
千代田町	248	生ごみリサイクル事業（公共施設）	給食センター、東西保育園から排出される食品残渣を、町内民間業者保有の飼料化施設へ処理委託	【R元実績】 18,505 k g	給食センター、東西こども園から排出される食品残渣を民間の飼料化施設へ処理委託	【R2実績】 17,145Kg	R2年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
千代田町	249	生ごみリサイクル事業（保護者向け）	東西幼稚園及び東西保育園に登園している保護者向けと一般家庭の食品残渣を回収し、町内民間業者保有の飼料化施設へ処理委託	【R元実績】 3,185 k g	一般家庭から排出される食品残渣を回収し、民間の肥料化施設へ処理委託	【R2実績】 3,700Kg	R2年度と同様
千代田町	250	古着類の回収品目追加	古着に加えて、バッグ・靴・毛布等も回収。	【R元実績】 9,840 k g	古着に加えて、バッグ・靴・毛布等も回収	【R2実績】 11,830Kg	R2年度と同様
千代田町	251	廃食用油の回収	保健センターを廃止し、回収場所を役場、温水プールの2箇所にした。	【R元実施】 1,410 k g	一般家庭から排出される廃食用油を回収し、民間の施設へ再生処理委託	【R2実績】 1,470Kg	R2年度と同様
千代田町	252	リサイクル品回収（保護者向け）	幼稚園及び保育園の保護者が登園時にいつでも出せる場として、プラスチック製容器包装類、白色トレイ、牛乳パック、ペットボトル、金属類（缶含む）、紙類を回収。金属類及び紙類の売却代はPTA会費及び保護者会費となる。	【R元実施】 金属類 9,315 k g 紙類 1,665 k g	東西こども園の保護者が登園時にいつでも出せる場として、プラスチック製容器包装類、白色トレイ、牛乳パック、ペットボトル、金属類（缶含む）、紙類の回収を実施。金属類及び紙類の売却代はPTA会費及び保護者会費となる。	【R2実績】 金属類 7,833Kg 紙類 1,362Kg	R2年度と同様
千代田町	253	金属回収事業	今まで燃えないごみで出されていた金属を平成30年7月からごみステーションで回収する。	【R元実施】 14,235 k g	ステーション回収を実施	【R2実績】 金属類 7,195Kg	R2年度と同様
千代田町	254	ガラス、陶磁器類回収事業	今まで燃えないごみで出されていたガラス、陶磁器を平成30年7月からごみステーションで回収し民間業者で選別し、路盤材としてリサイクルする。	【R元実施】 17,565 k g	ステーション回収を実施	【R2実績】 20,465Kg	R2年度と同様
千代田町	255	フードバンク支援（フードドライブの実施等）	家庭で消費しきれない食品をNPO法人に引き渡し、生ごみ等の減量を図る。	【R元実施】 40.38 k g	家庭で消費しきれない食品を回収してNPO法人へ引き渡し、生ごみの減量を図った	【R2実績】 65.92Kg	R2年度と同様
千代田町	256	役場庁舎等における古紙のリサイクル	役場庁舎等から発生する古紙を資源として再生処理。	【R元実績】 16,350 k g	役場庁舎等の公共施設から発生する古紙を資源として再生処理	【R2実績】 20,570Kg	R2年度と同様
千代田町	257	剪定枝等のリサイクル処理	一般家庭から排出される剪定枝等を排出者自ら民間のリサイクル処理施設へ自己搬入するよう案内	【R元実績】 220,680 k g	一般家庭から排出される剪定枝等を排出者自ら民間のリサイクル処理施設へ自己搬入するよう案内	【R2実績】 395,250Kg	R2年度と同様
大泉町	258	廃食用油の回収事業	役場内環境整備課窓口にて随時（土日預かりも可）回収。	230件の回収実績があった	役場内環境整備課窓口にて随時（土日預かりも可）回収。	233件の回収実績があった	R2年度と同様
大泉町	259	資源ごみ分別収集事業（紙類）	継続的に包装紙やお菓子の紙箱等の排出方法をごみ収集カレンダーに記載した。	可燃ごみの減少につながった	継続的に包装紙やお菓子の紙箱等の排出方法をごみ収集カレンダーに記載した。	可燃ごみの減少につながった	R2年度と同様

市町村名	番号	事業名	各年度の実施状況・概要				
			令和元年度		令和2年度		令和3年度以降の予定
				成果		成果	
大泉町	260	古着・古布の回収	古着や古布の回収を町のイベント（環境フェア等）に合わせて実施した。また、役場内環境整備課窓口にて随時（土日祝日を除く）回収。回収された古着等は、主に海外にてリユースされる。	215人、1760kgの回収実績があった	新型コロナウイルスの影響により受入れを一時休止	-	令和3年12月1日から再開
大泉町	261	都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト	広報及びホームページを用いて周知した。	-	-	-	R2年度と同様
大泉町	262	剪定枝等のリサイクル処理	ごみ収集カレンダーに剪定枝等のリサイクルについて記載した。広報及びホームページを用いて周知した。	408,290kgの回収実績があった。	ごみ収集カレンダーに剪定枝等のリサイクルについて記載した。広報及びホームページを用いて周知した。	675,840kgの回収実績があった。	R2年度と同様
大泉町	263	30・10運動（宴会時の食品ロス対策のために宴会開始・終了時の一定時間、着席等を促す運動）に係る普及啓発	環境整備課窓口にて啓発用の掲示物を設置した	-	環境整備課窓口にて啓発用の掲示物を設置した	-	R2年度と同様
大泉町	264	フードバンク支援（フードドライブの実施等）	他課（福祉課）でフードドライブを実施している	-	他課（福祉課）でフードドライブを実施している	-	R2年度と同様
邑楽町	265	資源ごみ回収奨励金	資源ごみの回収団体に、ごみのリサイクル・減量化を図るため回収量に応じて1kgあたり8円を交付する。	令和元年度回収実績29,446kg	令和元年度と同様	令和2年度回収実績26,880kg	R2年度と同様
邑楽町	266	リサイクルステーションの設置（資源ごみの拠点回収）	-	-	-	-	令和3年度より資源ごみの回収のためリサイクルステーションを設置。ペットボトル、容器包装プラスチック、白色トレイ、ビン、缶、紙類、古着・古布、金属類等の拠点回収を実施